



早く大きくなーれ

(5月25日、西小学校 アユの体験放流)

広   報 **かわづ** July 7

2011年 No.467

■主な内容 町職員が見た被災地…2～3頁 まちのできごと…4～5頁



山田町内全景

### 災害支援派遣職員に聞く

#### 被災者の心のケアが大切

公衆衛生チームとして、避難所での健康相談や感染症予防を担当しました。家庭訪問では、震災後に体調を崩し、毎晩同じ夢を見て眠れないという女性の自宅を訪問しました。震災の話をしながら涙を流す様子に、被災者の心のケアの必要性を強く感じました。

また、被災者たちが、お互い声をかけ合い励まし合っていて、苦難を乗り越えている姿に、日ごろの家族・地域のつながりの大切さを痛感しました。



遠藤絹代さん  
保健福祉課  
主査保健師  
5月23日～27日  
まで岩手県山田町で支援活動

### 被災地での活動

- 1日目 宮古保健所で前チームから引き継ぎ
- 2日目 山田町田の浜地区の家庭訪問  
大浦漁村センター避難所、大浦保育園避難所の健康調査（血圧測定、身体状況の確認、衛生状態の確認など）
- 3日目 大浦漁村センター避難所、大浦保育園避難所、山田北小避難所の健康調査
- 4日目 10カ月児健診の計測支援  
後チームへ引き継ぎ



家庭訪問の様子



左上：津波により壊滅した旧大槌町役場の正面玄関  
左下：小学校の運動場に建てられたプレハブの役場仮庁舎  
右：コンクリートの巨大な堤防も津波の威力には勝てなかった

#### 懸命に働く姿に感銘

大槌町役場町民課の窓口で、戸籍・住民票・印鑑証明の発行や異動事務に従事しました。町内の平地のほとんどが津波と火事に飲み込まれ、役場庁舎も壊滅したため、仮庁舎での業務でした。

窓口で対応した人の多くが、身内が行方不明や家族が亡くなる辛い経験をしていました。役場職員たちも、町長以下多くの同僚が亡くなり、自身も家族や自宅を失った状況の中で、公務最優先で黙々と働いていました。町の復興を背負う彼らの懸命な姿に、胸が締め付けられました。



渡邊優人さん  
総務課  
主事  
5月19日～28日  
まで岩手県大槌町で支援活動



瓦礫が散乱した震災直後の大槌町内  
津波が押し流した船や住宅がそのままの形で残る  
以前の町並みの面影はどこにもない（写真提供：大槌町役場）

Proud!  
Japan

東日本大震災

# 今こそ被災地に力を集結

東日本大震災から3カ月、被災地はまだまだ厳しい状況が続いています。町は、地震直後から支援物資を被災地に提供、5月からは県の要請に基づき、災害支援職員を派遣しています。これまでの町の支援状況を報告します。

### 物的支援について

町は、これまでに全国知事会からの要請を受けて、毛布150枚、アルファ米24箱（1200食）、ステイックパン18箱（900袋）を東北地方へ提供しました。福島第1原子力発電所の事故で水道水の放射線汚染が問題になった際には、災害時相互応援協定を結んでいる渋谷区に、水（500ml 2400本）を届けました。

### 人的支援について

県の支援要請を受けて、5月に職員2人を岩手県へ派遣しました。県は、岩手県遠野市に活動拠点を置き、山田町と大槌町を集中的に支援しています。今後町は、7月と8月に派遣を予定しています。

### 義援金について

保健福祉課と町社会福祉協議会では、被災地への義援金を引き続き受け付けています。また、募金箱を、役場庁舎と保健福祉センターの玄関に設置しています。

義援金受付状況(6/15まで)	
受付窓口	金額
保健福祉課	3,391,770円
社会福祉協議会	810,487円

義援金は、日本赤十字社と中央共同募金会へ随時送金しています。

※郵便局からの振り込みは  
日本赤十字社/00140-8-507  
中央共同募金会/00170-6-518

### 今後の地震対策について

大震災を教訓に、もう一度地震対策について考えてみましょう。町は、避難所の場所や海抜表示の確認も含め、現在の防災対策の見直し・検討を行うべく予定しています。

## バガテル公園の春バラ満開

### さくら幼稚園園外保育

さくら幼稚園の年長児が6月7日、園外保育で河津バガテル公園を訪れました。春バラが満開となった園内は甘い香りが漂い、園児たちは花に顔を近づけて、「いい匂い！」と大満足の様子でした。高台にあるキオスク（あずま屋）からは、観光客でにぎわう色鮮やかな園内を一望することができました。園児たちは、「きれいだね」「広いね」と歓声をあげて喜んでいました。



顔を近づけて香りをかく園児

## みんなの手で町をきれいに

### 町内一斉清掃

雨天のため1週間延期となった町内一斉清掃が6月5日、町内全域で行われました。朝早くから多くの町民の皆さんが、道路脇の草取りや側溝の掃除、川沿いや海岸のごみ拾いなどを行いました。ご協力ありがとうございました。この日集まったごみは、燃えるごみ3,600kg、カン類360kg（アルミ缶6,076個、スチール缶8,154個）、ビン類270kgでした。



道路脇の草取りをする人たち

竹で枝をたたいて梅の実を採る児童たち



## 力を合わせて梅450kg収穫

### 西小学校梅採り

西小学校は6月3日、湯ヶ野山の梅林で梅採りを行い、3年生以上49人で450kgを収穫しました。昨年は不作で中止となったため2年ぶりの収穫です。児童たちは木の下にブルーシートを広げ、竹で枝をたたいて落ちてくる梅を収穫。学校に持ち帰った梅を、1・2年生21人とPTAが選別しました。16日には児童会が役場を訪れ、梅の販売収益金の一部を震災義援金に寄付しました。

三須副町長から表彰を伝達される黒田さん



## 民生・児童委員として15年

### 黒田前民児協会長に表彰

元民生委員児童委員の黒田昭男さん＝浜＝が厚生労働大臣特別表彰と全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞し、伝達式が6月2日、保健福祉センターで行われました。黒田さんは、平成7年から昨年11月まで15年間浜西地区を担当、平成16年から町民生委員児童委員協議会会長を務めました。「私一人の力ではない、協議会の仲間感謝したい」とあいさつしました。



「きれいに磨けたかな？」磨き残しがないか歯科衛生士に確認してもらう園児

## わくわくの森で植樹体験

### 春の森づくり県民大作戦

賀茂農林事務所主催の「春の森づくり県民大作戦 森林浴ハイキングと植樹でリフレッシュ」が5月21日、伊豆元気わくわくの森で行われました。森づくり県民大作戦は、毎年春と秋、ボランティア団体・企業・行政などが力を合わせて地域の森づくりに取り組むイベントです。参加者たちは森林セラピーロードを歩き、鉢の山頂上付近にモミジの苗木10数本を植樹しました。



モミジの苗木を植える参加者たち

## ZOOM IN KAWAZU

# まちの出来事

## きれいに磨けたかな

### わかば保育園むし歯予防教室

むし歯予防教室が6月7日、わかば保育園で行われました。この教室は、歯の衛生週間（6月4～10日）に合わせて町内の幼稚園と保育園で行われました。町食生活推進員から正しいおやつのお食べ方について、歯科衛生士から歯の健康や歯磨きの仕方について教えてもらいました。歯磨きの練習では、4・5歳児が染め出し液を使って歯の汚れをチェック。鏡を見ながら歯ブラシで磨いたあと、磨き残しがないか1人ずつ歯科衛生士に確認してもらいました。

ペロバ海岸でガニ引きに挑戦



## 自然の中で交流を深める

### 白馬南小・河津東小児童交流

白馬南小学校の6年生17人が5月18日から19日にかけて河津町を訪れ、東小学校の児童と交流しました。姉妹都市である白馬村の子どもたちに河津の自然を体験してもらおうと、昭和62年度から毎年行われている伝統の交流会です。児童たちは冬のスキー交流以来約4カ月ぶりの再会を果たし、一緒に昼食を食べたあと、みかん狩りや磯遊びを楽しみました。



## 図書館カレンダー 7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	■は休館日。本の返却は返却ボックスへ。					

※システム入れ替え工事のため、7月11日から19日まで休館となります。大変ご迷惑をおかけします。夏休み期間中も通常どおり月曜日休館になります。

## 今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会  
毎週日曜日 14時30分~  
7月3・10・24日

乳幼児向けの読み聞かせ  
「はらぺこあおむしの会」  
0・1・2歳児向け 10時10分~10時30分  
2・3歳児向け 10時40分~11時  
(毎週木曜日)  
7月7・14・21・28日  
幼児向け 14時30分~15時  
(第3木曜日)  
7月21日

小学生向けの読み聞かせ  
「時間のはこぶね」  
毎週木曜日 15時50分~16時20分  
7月7・21日

※変更がある場合は、図書館に掲示します。

## 第57回青少年読書感想文全国コンクール「夏の課題図書」が揃いました

小学校低学年の部 (1・2年生)	
書名	著者名
ものすごくおおきなプリンのおかげ	二宮由紀子/文
がっこうかっぱのイケノオイ	山本悦子/作
アリクイにおまかせ	竹下文子/作
エディのやさいばたけ	サラ ガーランド/作



私たちはこの本を選んだよ!

小学校中学年の部 (3・4年生)	
書名	著者名
ヤマトシジミの食卓	吉田道子/作
わたしのとくべつな場所	パトリシア・マキサク/文
忘れないよリトル・ジョッシュ	マイケル・モーバーゴ/作
ホスピタルクラウン・Kちゃんが行く	あんずゆき/文

小学校高学年の部 (5・6年生)	
書名	著者名
こども電車	岡田潤/作
天風の吹くとき	福明子/作
犬どろぼう完全計画	バーバラ・オコーナー/作
クジラと海とぼく	水口博也/文

中学校の部	
書名	著者名
聖夜	佐藤多佳子/著
スピリットペアにふれた島	ベン・マイケルセン/作
夢をつなぐ	山崎直子/著

高等学校の部	
書名	著者名
野川	長野まゆみ/著
マルカの長い旅	ミリヤム・プレスラー/作
光が照らす未来	石井幹子/著

### ★課題図書の貸し出しについて★

夏休み期間中たくさんの皆さんに貸し出しできるように「貸出制限」をします。ご協力をお願いします。

- 実施期間 8月28日(日)まで
- 冊数 1冊まで
- 貸出期間 1週間
- 貸出対象者 町内の人
- 予約連絡取置期間 3日間

### 語りかけから、始めよう。今月のブックスタート

とき：7月28日(木)13時~  
ところ：保健福祉センター  
ふれあいホール  
対象者：平成23年3月生まれの赤ちゃん

## 新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書名(一般書)	著者名	出版社
てふてふ荘へようこそ	乾 ルカ	角川書店
絆回廊	大沢 在昌	光文社
蹴夢	鈴木 智之	講談社
母のむね父のせなか	松田 遊民	幻冬舎 ルネッサンス
羊毛フェルトの教科書	緒方 伶香	誠文堂新光社

書名(児童書)	著者名	出版社
うみ	中川 ひろたか/文 はた こうしろう/絵	自由国民社
コックのぼうしはしっている	シゲタ サヤカ	講談社
どんまい!卓球部	横沢 彰/作 小松 良佳/絵	新日本出版社
いのち わたし、画学生さんのぶんまで生きる	窪島 誠一郎/作 かせ りょう/絵	アリス館
鉄は魔法つかい 命と地球をはぐくむ「鉄」物語	畠山 重篤/著 スギヤマ カナヨ/絵	小学館

## フレッシュ

262

## 今はアユ釣りに夢中です

### 正木 亮太さん

まさき りょうた  
下峰  
23歳 A型 ふたご座  
時盛 勤務



アユ釣りのウェーダー姿で迎えてくれたのは、この春大卒を卒業したばかりの正木亮太さん。実家のおそば屋さん、時盛で働いています。小さいころからお店の手伝いをしていたので、包丁使いやそば打ちに慣れたもの。調理場から顔を出せば、常連のお客さんに声をかけられることも多いそうです。

「釣りがやりたいから河津に帰ってきた」と言う通り、今は何よりも釣りに夢中。20歳を過ぎてから本格的に始めたという釣りの道具は、3年前に亡くなった父・公夫さんが愛用していたものです。お店が休みのこの日は、朝

から河津川でアユ釣り三昧。取材の間には、通りがかりの顔見知りから「今日はどう?」と成果を聞かれています。

「釣りの楽しみは、仲間と一緒にできること。川に行けば必ず誰かと会えるし、釣りの後は一緒に飲みに行ったり、ご飯を食べに行ったり...」自分よりずっと年上の近所のおじさんたちは、亮太さんの釣り仲間であり良き師匠です。

今一番の目標は、「メーカーが主催するアユ釣り大会で、来年こそ予選を突破すること!」成長が楽しみです。な若手のホープです。

## Monthly Report ジャカルタからアパカバール! vol.7

### 日本の復興を願って

河津のみなさん、アパカバール(こんにちは)。

3月11日に起きた東日本大震災と津波の被害は、インドネシアにもテレビやラジオ・新聞などで瞬時に伝わりました。インドネシアの友人たちが「日本の家族や友人は大丈夫か」と心配してくれました。

大震災と津波、ムラピ山の噴火など大きな災害を経験しているインドネシアは、今、日本と同様復興の途上にあります。それでも、日本に留学や研修に行った経験のある多くのインドネシアの人たちが、「日本には本当にお世話になった。今こそ私たちが助ける番だ」と、チャリティーイベントを次々と行い、集まった応援メッセージや義援金を日本大使館に届けてくれました。

そんな中、「私たち日本人も行動を起こそう!」とジャカルタ在住の主婦が募金活動を始めました。ショッピングセンターで募金箱を抱え、「震災と津波の被害を受けた方々に支援をお願いします」とインドネシア語でお願いしました。

未満 ひろみ  
すえみつ ひろみ  
青年海外協力隊調整員の夫に随行して2010年10月からインドネシアへ。一男三女の母。浜



でも「日本は大好きです」「応援しています」「日本は必ず復興できますよ」と力強い励ましの言葉とともにたくさんの募金をしてくれました。日本円で1万円ぐらいのお金をさらりと入れてくれる人もたくさんいて、びっくりしたとともにとでも嬉しかったです。孤児院の子どもたちは少ないお小遣いの中から募金をしてくれて、彼らの気持ちに目頭が熱くなりました。この募金に込められたインドネシアの人たちの善意を、被災者の人たちにきちんと伝えられたらと願っています。



ショッピングセンターでの募金活動の様子

橋の完成イメージ図



現在県では、県道下佐ヶ野谷津線のバイパスとして、上峰〜田中間に新しい道路を建設しています。(平成25年3月完成予定) 12月には、上峰と沢田を結ぶ新しい橋が河津川に架設される予定です。今回、新しい「橋」の名称を町民の皆さんに募集します。皆さんのアイデアをお待ちしています。

なお、新しい橋の長さは55.7m、幅は16.8mです。

news

## 橋の名称を募集します！ 河津川に新しい橋を架設

【応募方法】  
住所・氏名・電話番号・新しい橋の名称を、次のいずれかの方法で役場建設課までお寄せください。

①わたしの声 … 建設課宛としてください。  
②電子メール … Kensetsu@town.kawazubo.shizuoka.jp

【締め切り】7月29日(金)  
【結果発表】  
応募のあった名称の中から選定委員が選考し、9月中旬に発表します。採用された人には記念品を贈呈します。

【問い合わせ】  
建設課 (34)1952



検査のため採取した海水

news

## 海水浴場の海水を検査 放射性物質検出なし

町は、本格的な海水浴シーズンの前に、今井浜海岸の海水の放射性物質測定を行いました。海水を5月30日に採取し、県生活科学センター(静岡市葵区)で測定しました。

結果は、放射性ヨウ素131、放射性セシウム134・137ともに検出されませんでした。

今回の検査は、東京電力福島第1原子力発電所の事故を受けて、「安心して海水浴を楽しんでもらいたい」という地元地区の要望で行われました。今後は、7月上旬と8月上旬の2回検査を行い安全を確認する予定です。測定結果は、町のホームページで公表しています。

# news and info

news

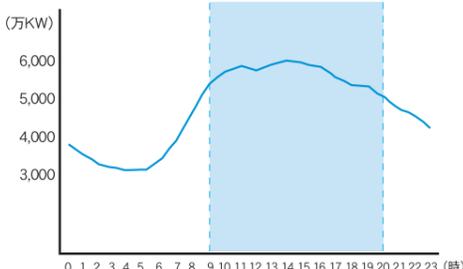
## 9時〜20時の節電にご協力をお願いします 役場への来庁は軽装でお越しください

この夏は、東日本大震災の影響により大幅な電力不足が予想されます。特に、7月〜9月の平日は冷房による電力消費が増大し、1日の中では14時ごろが電力需要全体のピークとなります。1日を通じた節電を心がけつつ、特に平日

9時〜20時の節電にご協力をお願いします。

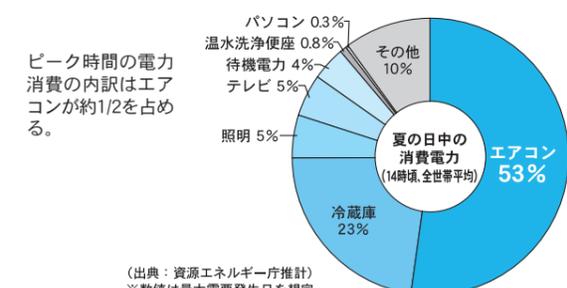
なお役場庁舎内は、冷房の使用を控える、設定温度を28度にする、休憩時の消灯を徹底するなど節電対策に取り組んでいます。また、職員はクールビズを実施しノーネクタイ！

●夏の節電は平日9時〜20時を中心に  
(夏期の1日の電力需要(最大需要発生日))



ノー上着で業務を行っていただきます。会議などで役場へお越しの際は軽装でお越しください。

●エアコンが節電の大きなポイント



## 保健のお知らせ

### 健康相談および母子健康手帳交付

日時 7月19日(火)  
13時30分〜15時30分  
8月1日(月)  
13時30分〜15時30分  
場所 保健福祉センター

### 育児相談

子育てには悩みが付きもの…。一人で悩まないで、どんどん相談してください。

日時 8月2日(火)  
9時30分〜11時30分  
場所 保健福祉センター  
ふれあいホール  
対象者 子育て中の保護者  
内容 身体測定、離乳食、育児相談など 歯科衛生士による歯科相談、フッ素塗布(希望者)  
持ち物 母子健康手帳



ふれあいホールにて

### のびのび発達検査(要予約)

日時 7月25日(月)  
場所 保健福祉センター  
対象者 子どもの言葉の発達やしつけなどで心配なことがある人  
内容 児童相談所心理司による精神発達精密検査と個別相談

## ●今月のテーマ 熱中症を防ごう

保健福祉課 ☎34-1937

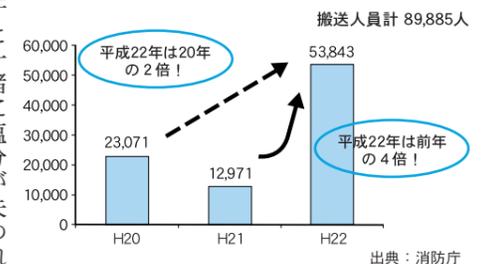
こんにちは  
保健師です。

記録的な猛暑となった昨夏、熱中症で亡くなった人は全国で1600人以上、病院に搬送された人は5万3000人を超え、過去50年間で最多となりました。今年の夏は、節電による熱中症の増加が心配されるため、乳幼児や高齢者は特に注意が必要です。

熱中症予防は、汗をかいて熱を逃がし、体温の上昇を抑えることが大切です。今の時期から運動をして汗をかく習慣をつけ、気温の上昇に対応できる身体を作っておきましょう。

また、普段からこまめに

熱中症による救急搬送者の推移  
(平成20年〜平成22年 7月〜9月)



水分補給をすることも大切です。最低でも1日6回、定期的に水分をとるように心がけましょう。特に夏は

汗と一緒に塩分が失われるため、麦茶と一緒に梅干しを食べたり、汗をかいた後はスポーツドリンクを飲む

こともおすすすめです。熱中症は、屋外だけでなく室内にいてもなることがあります。衣服を調整したり直射日光を遮るなど工夫をして、身体に熱がこもらず室温が上がりにくい環境を整えましょう。また、冷房をかけていても窓際などは気温が高くなる場合があります。温度計を見て適温に調整するとともに、冷房だけに頼らず扇風機を併用すると、空気の流れを作り熱を逃がしやすくなるため節電にもつながります。

本格的な暑さに向けて各家庭で日常生活を見直し、快適な夏を過ごしましょう。

保健福祉課 関 真由美 保健師

## 胃がん検診(後半) 日程表

実施日	会場名	対象地区	時間
7月26日(火)	下佐ヶ野コミュニティ防災センター	下佐ヶ野 天川・上佐ヶ野	6時30分〜8時 肺がん検診・大腸がん検診と同時実施
7月27日(水)	笹原コミュニティ防災センター	笹原	
7月28日(木)	農協農産加工所	筏場・大堰	※前半は7/4〜9に各地区で実施しました
7月29日(金)	踊り子温泉会館	下峰	
	涅槃堂駐車場	沢田	
7月30日(土)	保健福祉センター	全地区	

## 早期発見が大切

胃がん検診のお知らせです。

●負担金 胃がん700円 肺がん・胸部X線 無料 喀痰検査500円 大腸がん300円(いずれも70歳以上は無料です)

●受診方法 問診票記入のうえ会場へ持参してください(問診票は対象者に郵送します)

【問い合わせ】

保健福祉課 ☎34-1937

固定資産税2期 国民健康保険税3期  
8月1日(月)が納期です。  
問 町民生活課 ☎34-1928

## ひとの動き

### 戸籍だより

(5月1日～31日届出)

## 相談

### 日本年金機構出張相談

日時・場所  
7月15日(金) 東伊豆町役場  
8月5日(金) 河津町商工会館  
9時30分～11時30分 13時～14時  
問 町民生活課 ☎34-1932

### 地デジ相談デジサポへ

地上デジタル放送受信に関する相談を随時受け付けています。

#### デジサポ静岡

☎054-333-5700

平日9時～21時 土日・祝日9時～18時  
◎『臨時相談コーナー』を8月26日まで役場庁舎1階に設置しています。直通電話を利用してデジサポ静岡と直接相談することができます。お気軽にご利用ください。(平日のみ9時～17時)

問 デジサポ静岡

### ひとり親家庭の相談会

生活・就業・法律の相談会。職業紹介や求職登録、弁護士による親権や養育費などの相談ができます。

日時 8月8日(月) 9時30分～16時  
場所 東伊豆町役場 1階研修室  
参加費 無料(託児あり、要予約)  
申込 当日受付可 予約優先  
問 母子家庭等就業・自立支援センター ☎054-254-1191

### 夏季きこえの相談会

日時 7月25日(月)、26日(火)  
10時～12時 13時30分～16時  
場所 県立沼津聴覚特別支援学校  
対象 県東部地区に在籍する幼児(0～6歳)・児童  
内容 聴力測定 教育相談  
申込 7月14日(木)までに電話かFAXで申し込んでください。  
問 沼津聴覚特別支援学校担当(柏木) ☎055-921-3398 FAX055-923-5327

## お知らせ

### 犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り  
日時 7月20日(水)  
13時～13時15分  
場所 役場前駐車場  
問 町民生活課 ☎34-1932

### エイズ検査と肝炎検査

検査前日の16時までに電話予約してください。検査は無料・匿名。

日時 7月28日(木)  
問診・採血 9時～12時(要予約)  
結果通知  
エイズ検査 14時～17時  
肝炎検査 約1週間後  
場所 賀茂保健所1階 相談室  
問 賀茂保健所 地域医療課 ☎24-2052

### 鍵は必ずかけましょう

#### 無施錠撲滅「ロックオン作戦」実施中

下田署管内の、1月～5月までの自転車盗や車上ねらい・部品ねらい・空き巣・忍込みの被害状況が昨年に比べて増加しています。その被害の多くが、無施錠や鍵の付けっぱなしによるもので、被害者が防犯意識を高く持ち確実に施錠することで未然に防止することができます。鍵をかけることは、自分でできる簡単で一番重要な防犯対策です。自分の財産は自分で守りましょう。

問 下田警察署・下田警察署管内防犯協会

### 明るい社会を目指して

7月は「社会を明るくする運動」強調月間です。この運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、毎年行われています。

問 町社会を明るくする運動実施委員会 保護司会 更生保護婦人会(保健福祉課内) ☎34-1937

### 定期券を始めました!

「伊豆中央道」と「修善寺道路」では定期券制度導入の社会実験を6月1日から行っています。

対象車種 普通車、軽自動車など  
実施期間 平成24年3月31日まで

料金  
普通車 12,000円/月  
(別途預かり金4,500円が必要)

軽自動車など 9,000円/月  
(別途預かり金3,380円が必要)

◎定期券の販売は、伊豆中央道料金事務所(8時～17時)で行っています。

問 県道路公社 東部管理センター ☎0558-76-5718

<http://www.siz-road.or.jp>

### 7/1～7は全国安全週間

昨年県内では、4,180人が休業4日以上労働災害を被り、40人の尊い人命が失われました。また、労災保険の新規受給者は県内で約2万人、全国では約48万人にも上り、一度に多数の労働者が被災する重大災害は依然として高い水準にあります。今年のスローガンは「安全は 家族の願い 企業の礎 創ろう元気な日本!」です。それぞれの職場において労働災害防止の重要性について認識を深め、安全管理活動の着実な推進を図りましょう。

問 静岡労働局

### バスの車内事故を防止

県バス協会では、走行中のバス車内での事故を防止するため「車内事故防止キャンペーン」を実施しています。走行中に席を離れると、転倒など思わぬけがをする場合があります。バスを降りるときは、バスが完全に止まってから席を立ちましょう。また、やむを得ず急ブレーキを掛ける場合があります。満席のため、立ってご利用いただく場合は、吊革や握り棒にしっかりおつかまりください。

問 県バス協会 ☎054-255-9281

### フランス広場を無料開放

河津バガテル公園では、7月15日からフランス広場を無料開放します。フランス広場にあるショップやレストランに自由に行くことができます。なお、ローズガーデンの見学は有料です。

問 河津バガテル公園 ☎34-2200



フランス広場

### 富士山夏期マイカー規制

規制期間中はマイカーの通行ができません。有料の乗換駐車場(1台あたり1,000円)を利用し、有料のシャトルバス・タクシーに乗り換えてください。

規制場所 富士宮口(富士山スカイライン登山区間)および須走口(ふじあざみライン)

#### 実施期間

7月15日(金)17時～18日(月)17時

7月22日(金)17時～24日(日)17時

7月29日(金)17時～31日(日)17時

8月5日(金)17時～7日(日)17時

8月12日(金)17時～21日(日)17時

8月26日(金)17時～28日(日)17時

問 県道路企画課 ☎054-221-3359  
<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-210/fujisan/>

## 募集

### 下田地区消防組合職員

下田地区消防組合では、平成24年4月採用予定の職員を募集します。

職種・人員 消防職 3人程度

資格 ①高等学校卒で平成元年4月2日以降生まれの人②短期大学卒で昭和62年4月2日以降生まれの人③大学卒で昭和60年4月2日以降生まれの人(いずれも卒業見込みを含む)

受付 8月12日(金)まで  
郵送の場合は12日必着

問 下田消防本部 ☎22-1829

### 法務局で夏休み見学会

法務局は、登記など皆さんの生活に関わる仕事をしている行政機関です。その仕事内容を2時間程度でわかりやすく説明します。夏休みの自由研究などにぜひご利用ください。

日時 8月中(参加希望者と相談して決定します)

場所 静岡地方法務局下田支局(下田市西本郷2-5-33)

対象 小学校高学年～中学生とその保護者(引率者)

内容 法務局の仕事の見学と体験  
申込 7月29日(金)までに電話で申し込んでください。

問 静岡地方法務局下田支局 ☎22-0534

### 防災士養成講座を開講

防災に関する専門的知識や実践力を体系的に習得し、防災の現場で活躍できる専門家「静岡県ふじのくに防災士」を養成する講座です。

日時 9月6日(火)～10月13日(木)までのうち9日間

場所 沼津会場・静岡会場・浜松会場の3会場から選択

対象 県内在住または勤務で、県、市町、事業所、医療機関、教育機関、団体などで防災活動に従事する人など  
受講料 2,000円

定員 180人(沼津会場50人、静岡会場80人、浜松会場50人)

受付 8月5日(金)まで  
定員になり次第締め切り

申込 県地震防災センターに受講申込書を提出してください。(FAX、Eメール可) 申込書はホームページからダウンロードできます。

その他 本講座修了者には「静岡県ふじのくに防災士」の称号が付与され、日本防災士機構の「防災士」資格取得試験の受験資格が得られます。

問 県地震防災センター ☎054-251-7100 FAX054-251-7300  
<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp>

※このコーナーに掲載されたくない場合は、お申し出ください。

## 人口と世帯

(6月1日現在)

人口	8,084 人	前月比(-13)
(男)	3,888 人	
(女)	4,196 人	
世帯数	3,324 世帯	前月比(+1)



マウンテンバイクとシーカヤック

# kawa-jin

## かわづの



伊豆を走るマウンテンバイクやサイクリングの愛好者たちを、先導し案内するツアーガイドとして活躍している倉原卓也さん。学生時代にラフティングやトライアスロンなどのアウトドアスポーツを始め、ニュージールランドでロードレース大会に参加した経験もあるアスリートです。

倉原さんが案内するツアーは、海岸線や川沿いを走るサイクリングから、森の中を走るマウンテンバイクトレイルライドまでさまざま。「山が海まで迫り変化に富んだ伊豆の地形は、いろんな自然の姿を楽しむのにぴったりです」

結婚を機に河津に住み始めて3年目。伊豆市にある天城自然ガイ



## 自転車の上から自然を案内

アウトドアツアーガイド

### 倉原 卓也さん

くらはら たくや  
浜 28歳

大分県出身。ニックネームは「クララ」。春と秋はサイクリング、夏はシーカヤック、冬はトレイルランニングと1年を通して活動するアウトドア派。天城自然ガイドクラブのガイドとしても活躍中。

ドククラブにも所属しています。河津中学校がこの5月に行った総合学習「伊豆を知る」には自然ガイドとして同行し、3年生の生徒たちと一緒に三筋山から学校までの道のりを歩きました。「素直ないい子たちですね。大人になっても地元の自然のすばらしさを忘れないでほしい」と話します。

サイクリングのほかに、シーカヤックやトレイルランニング（登山道走るスポーツ）のガイド・企画も行う倉原さん。「すぐ近くにある自然を知って、いろんな楽しみ方を体験してほしい」日に焼けた横顔に、自信とやる気がみなぎります。

【取材】島崎 由美子さん 民間広報協力員

取材で、母校である西小学校の梅採りに20数年ぶりに行ってきました。昨年は不作のため取材に行けなかったのですが、今年こそはと楽しみにしていました。前日の雨で地面はぬかるみ、竹で枝をたたけば梅の実と一緒に水も降ってくる



過酷な取材でしたが、子どもたちが、先生や保護者と協力して元気に梅を採る様子を見て、自分の小学生時代を思い出し懐かしくなりました。時を越えて受け継がれている伝統の行事「梅採り」。私たち卒業生の自慢です。

(C)

### 姉妹都市長野県白馬村通信

#### ケーブルテレビ白馬開局



開局式であいさつする太田村長

5月20日（金曜日）に、平成21年度から進めていた地域情報通信基盤整備事業のメイン事業であるケーブルテレビ白馬の開局式が行われました。当日は、設計・施工を担当した、東日本システム建設株式会社と東日本電信電話株式会社に感謝状が贈呈され

ました。式典では来賓によるテープカットに続き、太田村長が開局ボタンを押すと同時に、大型スクリーンと大型液晶テレビの画面に「ケーブルテレビ白馬開局」の文字が映し出され、晴れの門出を迎えました。